

公立中高一貫校
合格力講座

2019年度
合格へのこの一問!

執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・青山ゆういち

観光の様々な種目を通してその地域の特色を考えてみよう。

挑戦! 福島県立会津学鳳中 2018年度
適性検査から抜粋(一部改変)

ひろとさんの学級では、日直が関心のある新聞記事を友達にしょうかいしています。ひろとさんは、福島県の観光に関する記事をしょうかいしました。次は、発表の様子です。<資料1>は、新聞にのっていた資料です。

ひろと：ぼくは、福島県内の観光客が増加したという記事をしょうかいします。<資料1>を見てください。表にある観光種目とは、観光の目的を7つに分類したものです。平成27年より平成28年の方が観光客の合計が多くなっています。これは、福島県に住んでいるぼくにはうれしい記事です。これからも観光を通して、多くの人に福島県のよさを感じてほしいと思います。質問はありませんか。

あやの：「その他」とありますが、例えば、どんな場所ですか。

ひろと：はい。*「道の駅」などです。

*道路利用者に様々なサービスを提きょうするし設、国土交通省にみとめられたもの。

ひろとさんの発表をきっかけに、総合的な学習の時間に、<資料1>の観光種目から班ごとのテーマを決めて、福島県について調べることになりました。

次の問題1～問題3の問いに答えなさい。

問題1

1班では、自然について調べました。すると、「第69回全国植樹祭ふくしま2018」が南相馬市で行われることがわかりました。全国植樹祭は、植林などを通して森林への愛情を育むことなどを目的として行われています。

<資料2>平成26年の土地利用比較

	全国(%)	福島県(%)
森林	66	71
農地	12	10
宅地等	5	4
その他	17	15

全国：総務省統計局「国土利用の現況」(平成26年)により作成
福島：「平成29年版福島県勢要覧」により作成

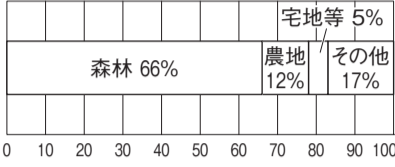
資料問題編⑦

観光の種目から見る地域の特色

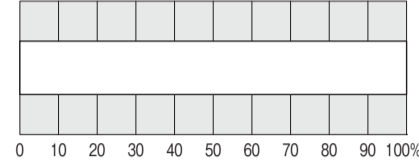
①、②の問いに答えなさい。

①福島県の面積における森林のしめる割合を、全国と比べました。<資料2>をもとに、福島県の土地利用のグラフを完成させなさい。ただし、<資料3>を例にしてかきなさい。

<資料3>全国の土地利用のグラフ



福島県の土地利用のグラフ



②植林をして人工林を増やすには、木材となる木を育てるだけでなく、自然が人々の暮らしに害を与えることを防ぐ目的もあります。人工林は、自然のもたらすような害を防ぐことができますか、2つかきなさい。

問題2

2班では、「道の駅」について調べました。

①、②の問いに答えなさい。

①<資料1>で「道の駅」がふくまれる観光種目の平成27年の人数をもとにした平成28年の人数の割合を、百分率で求めなさい。ただし、答えは小数第一位を四捨五入して、整数で表しなさい。

②県内の「道の駅」の場所を調べ、<資料4>のように地図にまとめました。<資料4>から読み取れることはどのようなことですか。ア～エの中から正しいものを1つ選び、記号でかきなさい。

ア「道の駅」は、県内すべての市町村にある。
イ「道の駅」は、三地方のうち、会津地方に最も多くある。
ウすべての「道の駅」は、国道に面している。
エ他県に接している市町村で「道の駅」があるのは、9市町村である。

問題3

3班では、都市型観光について調べました。この観光種目には、野菜などの「産地直売所」がふくまれており、たくさんの観光客を集めています。野菜の出荷量を調べてみると、<資料5>にあるように、福島県で出荷量の多いきゅうりは、宮崎県でも多く出荷されていることがわかりました。

①～③の問いに答えなさい。

①福島県の夏から秋に採れるきゅうりの出荷量は、宮崎県の夏から秋に採れるきゅうりの出荷量の約何倍になりますか。求めなさい。ただし、答えは四捨五入して、上から2けたのがい数であらわしなさい。

②福島県内のある地域では、きゅうり畑に目の細かいあみをはって全体をおおい、その中にミツバチを放すことがわかりました。ミツバチ

<資料5>福島県と宮崎県のきゅうりの出荷量

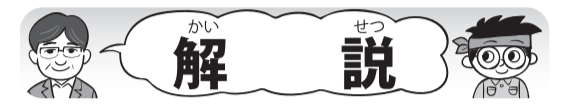
	福島	宮崎
夏から秋に採れるきゅうりの出荷量	29600	4530
冬から春に採れるきゅうりの出荷量	7560	53700

(農林水産省「農林水産統計」(平成27年)により作成)

を放すのはなぜですか、その理由をかきなさい。
③農業試験場などでは、農作物の品種改良を行っています。品種改良を行うのはなぜですか、その理由をかきなさい。



解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!



問題1

①公立中高一貫校では、社会的な資料問題でしばしばグラフ作成問題が出題されます。そこでのねらいは、数値を正しく点や線で表せるかどうかといった正確な処理能力を見ることにあります。自もりを読み間違えないよう注意深く取り組みましょう。
②天然林とちがひ人工林は人が意図的に植えるものです。木材を得るための人工林でも、土砂崩れの災害防止となっていますが、さらに、特定の害を防ぐために木を植える場合もあります。木によって防げる災害をイメージしてみましょう。

問題2

①「道の駅」がふくまれる観光種目は「その他」ですので、もとにする平成27年の8860人で平成28年の人数を割ればいいですね。
②地図から素早くかつ正確に情報を読み取りましょう。

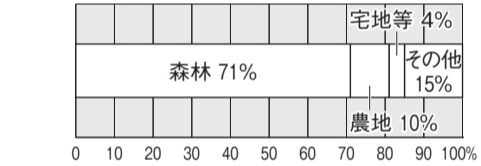
問題3

①上から3けた目まで計算で出し、その3けた目を四捨五入して算出します。
②花から実にするためにミツバチの役割は大きいですね。
③品種改良する目的はいろいろ考えられますね。病気や気候の変化への耐性を強めたり、安定した成長や食味の面の向上などがあります。



問題1

① 福島県の土地利用のグラフ



②雪による害、風による害

問題2

①約118% ②イ

問題3

①約6.5倍
②きゅうりの受粉を助けるため。
③その土地や気候に合わせて、おいしく育てやすい農作物をつくるため。